

タイ視察旅行に参加して。

河合 禮隆 識

平成 30 年 2 月 10 日(土) から 14 日(水) まで TIJ-ACPF によるタイ視察旅行に参加する機会を与えられ非常に感謝いたしています。

法律の世界、特に犯罪にかかわる世界については、今まで関係を持ったことはありませんでした。社会人として仕事上関連する法律については、多少勉強したぐらいの私で、その上日本の現状も知らない自分が、タイの犯罪にかかわる世界に触れて、理解することが出来るのか非常に不安でした。そうした状況下にある私の感想が少しでも役になるかどうかわかりませんが書き記します。

タイの女子刑務所に行って最初に感じたことは、これが刑務所なのかと思いました。緑に囲まれた大きな邸宅の様な感じがしました。物静かで、心地良い環境の中にあるのが刑務所だとは信じられない気持ちでした。タイランドののどかな環境がそのような気分させてくれているのでしょうか。そうした環境の中で毎日どのように生活をしているのか、興味がわいてきました。

最初に関係者の方々から話を聞き、知識を頭に入れて見学することは、刑務所の中の生活について理解する上で大いに役に立ちました。人生のやり直しをするために、必要なことを見つけるために、毎日毎日努力をしている姿を見ると、犯した罪がどんな罪なのかわからないが応援したい気持ちになります。人の心の中まではわかりませんが、自由のない社会よりも自由を求めて、今勉強していることを、将来の為に役立てて欲しいと感じる人たちばかりであれば最高です。

タイの街を歩いてみると、毎日の生活が苦しい人たちが自由を楽しみ、前を向いて明るく穏やかにそれぞれの人生を法律にしたがって正しく生きています。そのような世界に送り返されて、修得した知識を生かし自由な世界の環境に打ち勝つことは大変な努力が必要となるであろうと思います。

トンプリ刑務所に収容されている人は、10 年以下の刑の人たちであると聞いています。

料理、学習、技能、音楽など懸命に努力している人たちの顔が思い出されます。タイの穏やかな気候が、そのような人達の背中をおしてきっと明るい、幸せな人生に代えてくれるものと信じています。

日本とタイランドの政治経済、文化、環境などいろいろと考慮したうえで判断しなければいけないでしょう。世界各国の現状を考慮したうえで犯罪事件を少しでも少なくしようと、お互いに協力して解決に向かっていくことが大切であり、立派なことであると思います。

今回マッサージをしてくれた方は体格も優れ、力もあり、マッサージのポイントも理解していると思われました。今後自由な環境で今まで習得した技術を存分に出して、幸せな人生を過ごしている姿を夢見たいものです。

以 上